

(庶ろー15-B)

平成24年12月11日

地方裁判所事務局総務課長 殿 { 東京及び大阪の地方裁判所において
は文書企画官

最高裁判所事務総局情報政策課専門官 若 井 啓 悟

期日進行管理プログラムのインストールされているパソコンの更新時における設定方法等について（事務連絡）

平成24年度におけるパソコンの更新作業については、11月14日付け当課参事官事務連絡「平成24年度におけるパソコンの更新作業について」によりお知らせしたところですが、下記1の各期日進行管理プログラムを新しく整備されるパソコン（以下「Vista機」という。）において利用する場合の設定方法等について、下記2のとおり取りまとめましたので参考としてください。

なお、設定方法に関して御不明な点がございましたら、下記3の照会先までお問い合わせください。

おって、管内の簡易裁判所については、貴職から適宜の方法でお知らせください。

記

1 対象プログラム

(1) 期日進行管理プログラム（刑事通常第一審事件用）

ただし、刑事裁判事務支援システム（KEITAS）導入庁を除く。

(2) 期日進行管理プログラム（簡裁刑事通常第一審事件用）

2 設定方法等

(1) クライアント兼サーバ機として利用する場合

各プログラムのデータ部分のファイル（1(1)のプログラムは「新刑事データ

2000.mdb」， 1(2)のプログラムは「簡裁刑事データ2000.mdb」) を共有フォルダに格納し，各クライアント端末からリンクテーブルの設定を行う。

ア 共有フォルダの作成方法

V i s t a機のDドライブにあらかじめ格納されている「Windows Vista 端末ユーザズガイド」の第4「共有フォルダの設定手順について」を参照して設定する。

イ リンクテーブルの設定方法

別添「期日進行管理プログラム用リンクテーブル設定手順書」を参照して設定する。

- (2) クライアント機として利用する場合（多機能サーバ導入庁において，多機能サーバに各プログラムのデータ部分のファイルを格納する場合を含む。）

V i s t a機において別添「期日進行管理プログラム用リンクテーブル設定手順書」を参照してリンクテーブルを設定する。

3 照会先

情報政策課情報処理第二係（内線 [REDACTED] [REDACTED]）

（メールアドレス： [REDACTED]）

期日進行管理プログラム用リンクテーブル設定手順書

1 はじめに

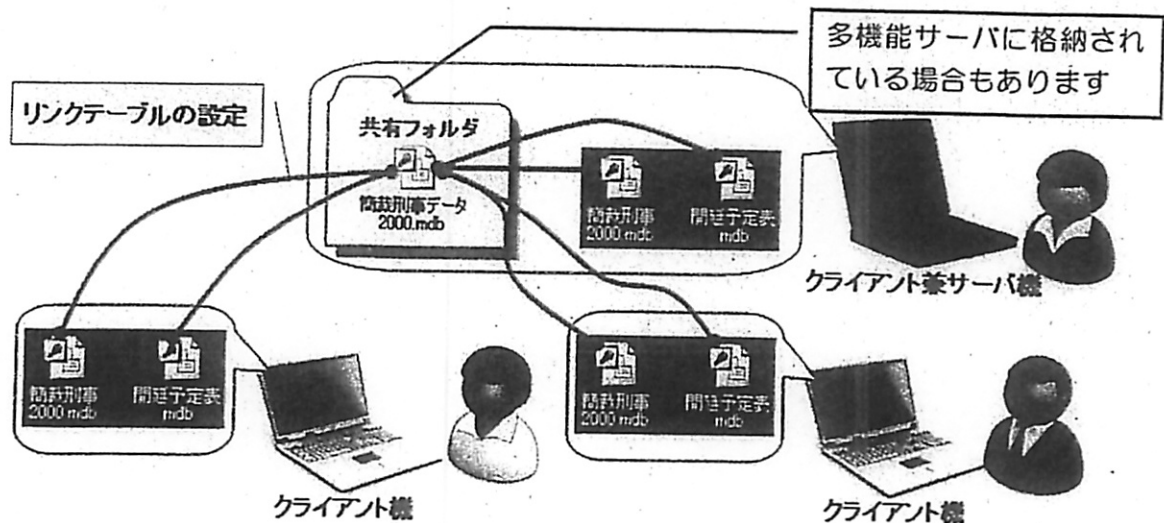
本手順書は、リンクテーブル方式で利用する期日進行管理プログラム（高裁民事事件用、刑事控訴審事件用、刑事通常第一審事件用及び簡裁刑事通常第一審事件用）（以下「本件対象プログラム」という。）のフロントエンドとデータ（テーブル）をリンクし、フロントエンドからデータの更新ができるようにするための設定手順書になります。

2 作業対象パソコン

本件対象プログラムのクライアント兼サーバ機及びクライアント機

3 作業対象ファイル（設定例は簡裁刑事通常第一審事件用）

プログラム名	フロントエンド	リンク	データ
高裁民事事件用	高裁民事2000.mdb	→	高裁データ.mdb
刑事控訴審事件用	控訴審2000.mdb	→	控訴審データ2000.mdb
刑事通常第一審事件用	新刑事2000.mdb 開廷予定表.mdb	→	新刑事データ2000.mdb
簡裁刑事通常第一審事件用	簡裁刑事2000.mdb 開廷予定表.mdb	→	簡裁刑事データ2000.mdb



4 作業権限

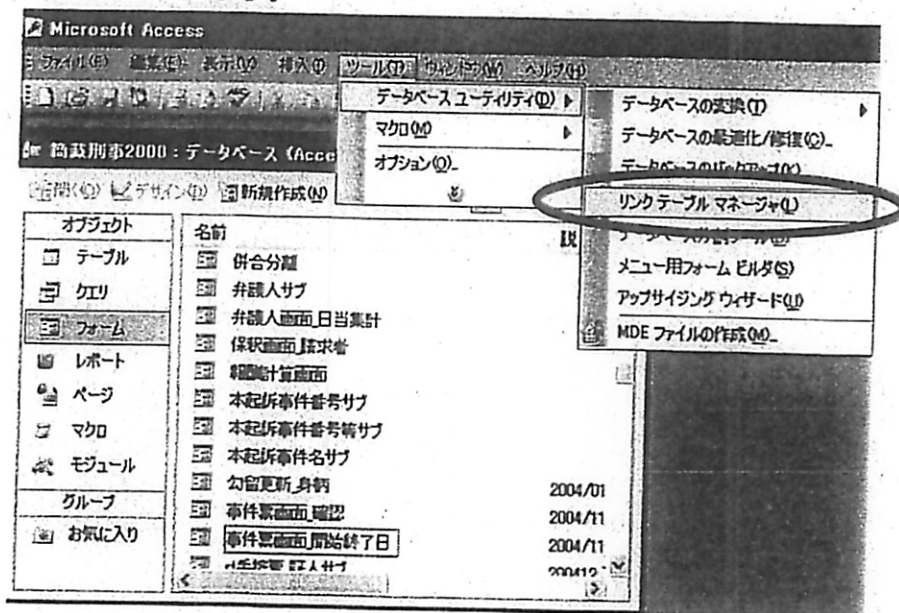
各ユーザ ID とパスワードでログオンしてください。

5 リンクテーブルの設定作業（画面は Windows XP の簡裁刑事通常第一審事件用のものです。）

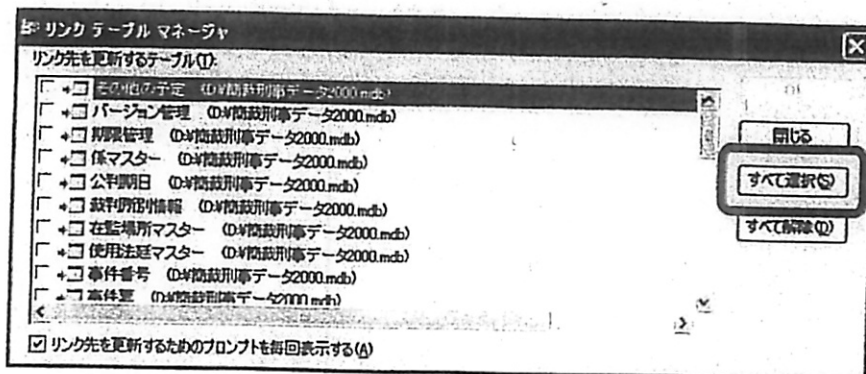
- (1) 上記3に記載されているフロントエンドをダブルクリックします。セキュリティ警告画面が表示されるので、キーボードの「Shift」キーを押しながら、「開く(O)」ボタンを選択します。



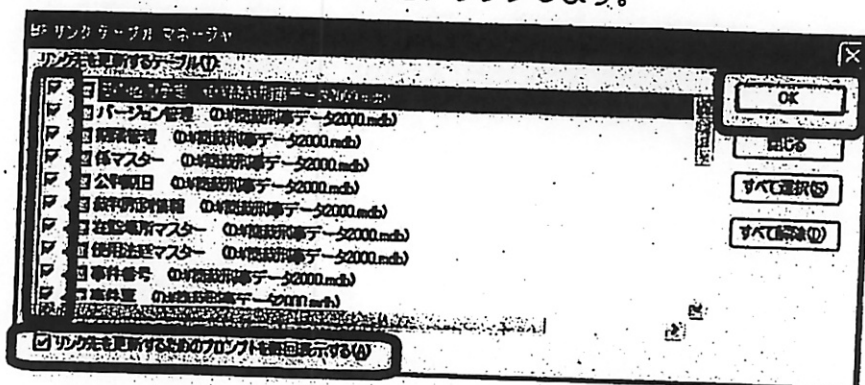
- (2) Access がデータベースウィンドウが表示された状態で起動するので、メニューバーから「ツール」→「データベースユーティリティ」→「リンクテーブルマネージャ」をクリックします。



- (3) 「リンクテーブルマネージャ」画面が表示されるので、「すべて選択」をクリックします。

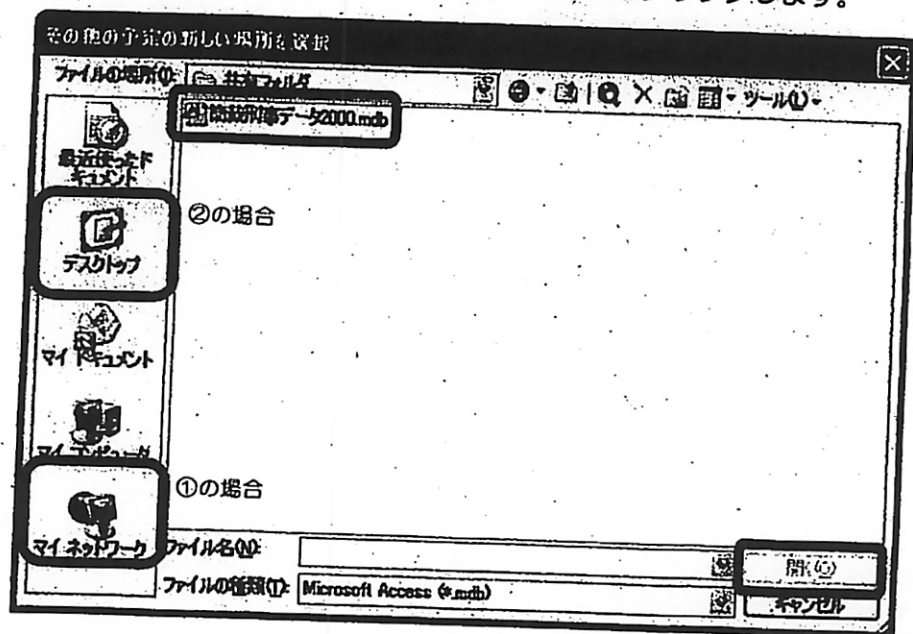


- (4) 「リンク先を更新するテーブル」のすべてのチェックボックスにチェックが入っていることを確認した上で、「リンク先を更新するためのプロンプトを毎回表示する」にチェックを付け、「OK」ボタンをクリックします。



- (5) 次のファイル選択画面が表示されるので、クライアント機の場合は、①画面左側の「マイネットワーク」→「ネットワーク全体」→「Microsoft Windows Network」→「サーバ機（クライアント兼サーバ機を含む。）の所属するワークグループ」→「サーバ機（クライアント兼サーバ機を含む。）のコンピュータ名」→共有フォルダー→データ部分のmdbファイルをクリックして選択し、「開く」ボタンをクリックします。多機能サーバにデータ部分のmdbファイルが格納されている場合は、多機能サーバ内の同ファイルをクリックして選択し、「開く」ボタンをクリックします。

また、②クライアント兼サーバ機の場合は、画面左側の「デスクトップ」→「マイコンピュータ」→Cドライブ又はDドライブ→共有フォルダー→データ部分のmdbファイルをクリックして選択し、「開く」ボタンをクリックします。



【注意】

サーバ機（クライアント兼サーバ機を含む。）が Windows XP で、クライアント機が Windows Vista の場合、クライアント機（Windows Vista）において、上記 (5) ①の手順ではサーバ機を表示することができません。

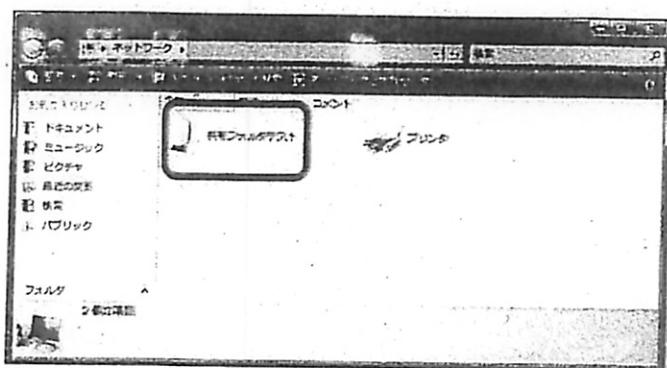
そこで、以下①から⑥の手順でリンク先のファイルを設定した後、(6)以降の手順に進んでください。

- ① サーバ機（クライアント兼サーバ機を含む。）を検索します。

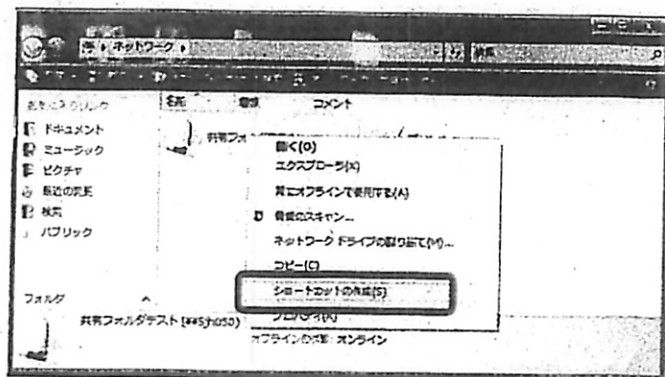
検索方法は、Windows Vista 端末ユーザズガイドー平成23年度版ー「第4 共有フォルダの設定手順についてー4 共有フォルダのA端末からのアクセス確認について」(1)を参照してください。

なお、サーバ機（Windows XP）のコンピュータ名の確認は、マイコンピュータを右クリック→プロパティをクリック→コンピュータ名のタブで確認することができます。

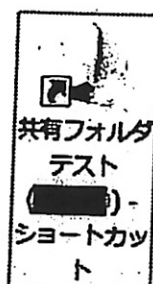
- ② 以下のようにサーバ機（クライアント兼サーバ機を含む。）の共有フォルダが表示されます。



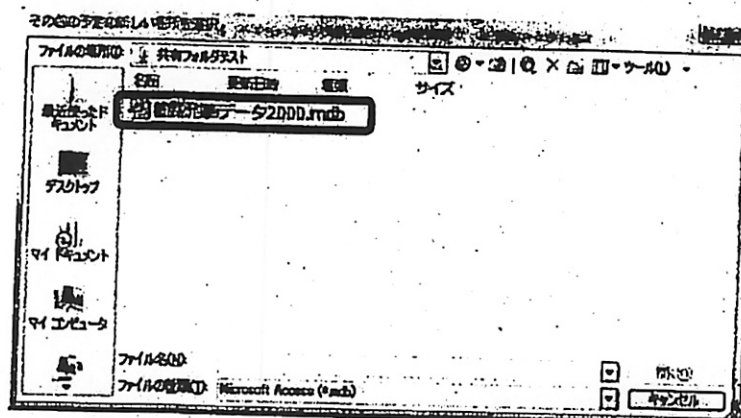
- ③ 共有フォルダを右クリックし、「ショートカットの作成」を選択してクリックしてください。



- ④ デスクトップに以下のようなショートカットが作成されます。



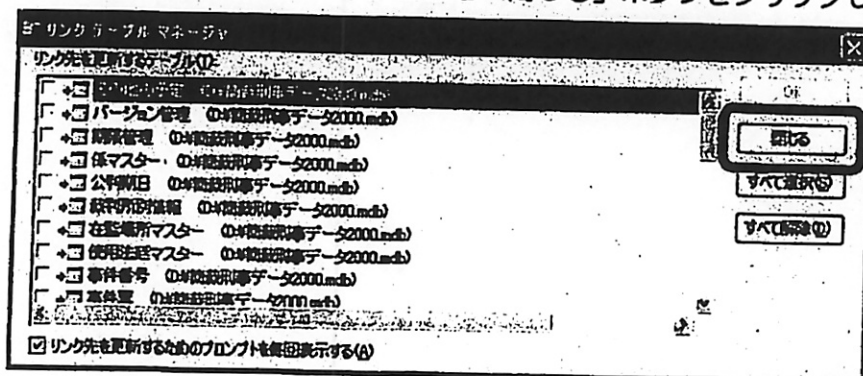
- ⑤ 前記(1)から(4)の作業をします。
- ⑥ 次のファイル選択画面が表示されるので、上記④で作成した「ショートカット」をクリックして、共有フォルダ内にある「簡裁刑事データ 2000.mdb」をクリックして選択し、「開く」ボタンをクリックします。



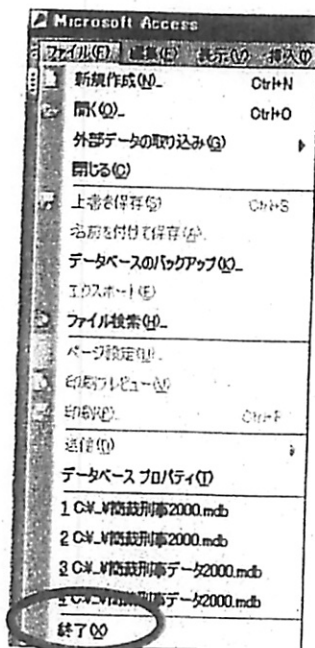
- (6) リンク先の更新作業が終了すると、次のメッセージが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。



- (7) 「リンクテーブルマネージャ」画面を「閉じる」ボタンをクリックします。



- (8) メニューバーから「ファイル」－「終了」をクリックして、フロントエンドを閉じます。



以 上